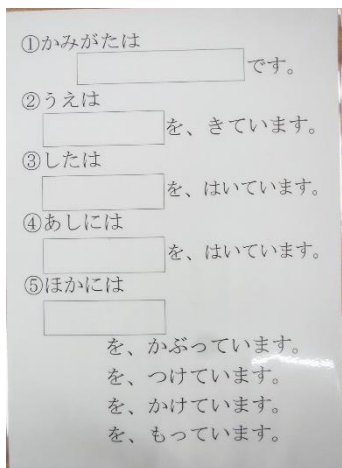


教材名	伝言着せ替え人形		
自立活動の区分	人とかかわりかたの勉強：周りの状況に合わせて行動したり、相手の言葉を聞いて活動したりできる。 コミュニケーションの取り方の勉強：いろいろな場面で相手に思いを伝える。話し方、聞き方を向上できるようにする。		
教材のねらい	・状況を理解し、相手に適切に伝える。 ・言語理解、言語表現		
使用した学年	小学部5年生		
教材・教具の写真			
着せ替え人形 		洋服などのパーツ 	ワークシート 
使用方法			
・着せ替え人形（イラスト）セットを2セット準備し、2グループ（①②）に分かれる。（相手の着せ替え人形が見えないように、衝立等で仕切る） ・①グループが人形を完成させ、②グループは①グループの説明を聞きながら、同じ人形を完成させる。 ①グループは伝え方の手順表を見ながら正しく伝えるようにする。 ・答え合わせをして、うまく伝わらなかったところを振り返る。			
教材の有効性（おすすめポイント）			
・着せ替え人形は児童が興味を持ちやすく、パーツを増やししながら興味を持続していける。 ・2人ずつのグループにすることで、お互いに違いに気付いたり、話しあったりして、コミュニケーションをとることができる。 ・最後に人形を見て答え合わせをすることで、伝わらなかったところの適切な伝え方をみんなで考え、次から改善していくことができる。			
教材の工夫や改善点			
・はっきりとした色を使ったほうが、児童は伝えやすい。 ・児童から見る左右と、人形の左右が違うので、最初から左右は書いておくとよい。			
備考（材料・参考資料など）			
着せ替え人形（イラスト）2セット、着せ替え用の洋服、帽子などのパーツ、 参考資料：特別支援教育ソーシャルスキル実践集（ナツメ社）			
おすすめしたい学年	小学部高学年、中学部		